

指定管理者からの令和5年度事業報告概要

施設名	岡山県自然保護センター
施設所在地	岡山県和気郡和気町田賀730

【指定管理者の概要】

名称	公益財団法人岡山県環境保全事業団	代表者	理事長 三宅博文
所在地	岡山県岡山市南区内尾665番地1		

【指定管理の概要】

指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの利用等の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・自然の保護に関する知識の普及及び意識の啓発に関する事 ・指導者及びボランティア育成に関する事 ・自然に関する情報の収集及び提供に関する事 ・自然に関する調査及び研究に関する事 ・タンチョウの飼育に関する事 ・傷病鳥獣の保護に関する事 ・自主企画事業の実施に関する事 ・センターの運営に関する事 		

【管理体制の状況】

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">所 長</div> (常勤1名)	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">管理担当</div> (常勤2名)	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">植物担当</div> (常勤2名)	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">動物担当</div> (常勤1名) + (非常勤3名) : 兼務	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">事務担当</div> (常勤1名)
<外部委託>タンチョウ飼育、傷病鳥獣保護、フィールド維持管理、清掃、警備、浄化槽維持管理、消防・防火設備保安点検、自家用電気工作物管理								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">管理運営委員会</div> (会長1名、副会長1名、委員7名)								

【利用等の許可の状況】

(単位:件)

		研修室	図書室	収蔵室	実習室	会議室	合 計
許可件数	5年度	36	3	3	5	5	52
	4年度	41	4	2	2	0	49
	増減	△5	△1	1	3	5	3

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設等の維持管理業務	・施設等維持管理 ・フィールド維持管理 ・清掃 ・ごみ処理 ・警備 ・消防、防火設備保安点検 等
施設等利用許可業務	研修室(36件)、図書室(3件)、収蔵室(3件)、実習室(5件)、会議室(5件)
自主企画事業	計3企画開催 【内容】・写真コンテスト・ボランティア体験(中学生)・私の観察ノート(利用者の観察記録)

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位:円、件)

			合 計
収入額			
利用件数			
減免額			
減免理由			

指定管理者からの令和5年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		5年度	対前年度増減額	4年度	備考
収入額 A		124,643,627	10,084,195	114,559,432	5年度収入額 その他の主なもの ・エネルギー価格高騰等に伴う支援交付金 368,000円 ・指定管理者繰入金 10,280,627円
内 訳	指定管理料	113,995,000	△564,432	114,559,432	
	利用料金収入	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	
	その他	10,648,627	10,648,627	0	
支出額 B		124,643,627	10,084,195	114,559,432	
内 訳	人件費	51,023,694	9,247,145	41,776,549	
	管理運営費	73,619,933	837,050	72,782,883	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		0	0	0	
県への納入金		-	-	-	
実質的な県負担額		113,995,000	0	113,995,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が行われていた。
	②法令等の遵守状況	B	関係法令に基づく義務は適切に行われていた。
	③安全性の確保	B	安全パトロールや消防訓練の実施など、センター利用者の安全を確保した管理が行われていた。
	④財産の適切な管理	B	施設・設備の破損、紛失はなく、維持管理を含め、適切な管理が行われていた。
導入 効果	①利用状況	A	利用者のニーズ、ターゲットを意識した催事やPR、SNSでの情報発信を積極的に実施したことにより、過去最多となる入場者数を達成した。 【利用者数】 R5：37,818人 ← R4：36,869人
	②収支状況	B	経費削減の取組を進め、会計処理も概ね適正に執行されていた。
	③サービス向上	A	様々な企画展示を行い、良好な状態で利用できるようにフィールドの整備、改修などを行った。
管理運営業務全般		B	協定書、事業計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施された結果、利用者は増加傾向にある。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。